

●復活後第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十六編」

主は来られる、

地を裁くために来られる。

主は世界を正しく裁き

真実をもって諸国の民を裁かれる。



復活の確かなしるし

自分の信仰の核心にあるものを自覚していることは、誰にでも必要です。米国のある女性神学者にとつて、それは幼い頃に聞いたイースターのメッセージでした。「主は甦られた」「主は本当に甦られた」。

彼女がガンで闘病したとき、毎日夜明け前に起きてサンルームに行き、昇る太陽を見ながら「それでも日は昇る」とつぶやきます。自然現象よりも確かな主の復活を心に刻みつつ闘病の日を耐えたのです。

復活された主イエスは弟子たちと四〇日を共に過ごしました。使徒言行録は、この四〇日間について、ご自分が生きていることを数多くの証拠をもって使徒たちに示されたと、書いています。

主イエスが復活されたとき、弟子たちはそれを信じませんでした。彼らは主を見たのに信じなかったのです。だから数多くの証拠をもって示す必要があったのです。この四〇日間は彼らにご自分の復活信じさせるための四〇日間だったのです。

その証拠のひとつが、ルカによる福音書第二四章三六節以下の出来事です。主が復活された日、弟子たちはひとつの部屋に集まっていました。ヨハネ福音書によれば、彼らはユダヤ人を畏れて扉に鍵をかけていました。主はその扉を通り抜け、彼らの真ん中に立つて「あなたがたに平和があるように」と告げます。

扉を通り抜けるのは不思議なことです。でも主イエスは弟子たちを助けるために必要とあれば、水の上でも歩く方です。ここでもそのようにされたのです。し

かし弟子たちは主を見て亡霊だと思い、恐れおののきます。その彼らに主は、手を見せ、足を見せ、魚まで食べて見せて、ご自分が確かに生きていることを示されたのです。

作家である椎名麟三さんは、洗礼を受けましたが復活が信じられませんでした。ところがある日、聖書のこの箇所を読んで、主イエスの姿を想像したときに、天地がひっくり返るほどの衝撃を受けます。それまで絶対だと思っていたものが崩れたのです。

彼は若い頃唯物論者でした。死者の復活などあり得ないという絶対性が道を塞いで、前に進めません。それが崩れたのです。それは主が神の子らしい不思議なことをやって見せたからではありません。弟子たちに何とか信じてもらおうと魚を食べて見せたからです。滑稽とも思えるその姿の中に椎名さんは主イエスの愛を見たのです。

主イエスの十字架の死は、わたしたちが罪の中で死んで滅びることを惜しまれた主が、滅びからわたしたちを救うために自ら起こされた出来事です。でもわたしたちが信じなければ、何の意味もありません。だから主が何とかして弟子たちに信じさせようとしたのです。その主を神さまは復活させられました。十字架も復活も、主イエスと神さまの愛が起こされた出来事です。他の何を疑っても、この真剣な愛を疑うことはできません。

皆さん、主イエスは甦られました。主は生きておられます。だからわたしたちは闇が支配しているように見えるこの世の中を。希望をもって、神さまと隣人を愛しつつ生きていくのです。

(使徒一・三、ルカ二四・三六〜四三)

吉村 和雄 名誉牧師

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○讃美集会の後、信仰者たちに学ぶ会を一二時(目途)から地下ホールで行います。(二三時前には終了予定)

○運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。

○二〇二五年度の「奉仕の単位名簿」を配布しました。

○次回の洗礼式、転入会式は七月二〇日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月一八(日)までに牧師宛ご提出ください。願書は事務所にあります。

○今週は連休のため、六日まで教会事務所、附属幼稚園はお休みです。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《シオンの会より》

五月七日(水) 一〇時三〇分～一二時 シオンの会を第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用します。)

テキスト「使徒言行録を読もう」P.二六二教会の言葉の誕生(二章一～二四節)を読みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十六篇】

新しい歌を主に向かつて歌え。

全地よ、主に向かつて歌え。

主に向かつて歌い、御名をたたえよ。

日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

国々に主の栄光を語り伝えよ

諸国の民にその驚くべき御業を。

大いなる主、大いに賛美される主

神々を超えて、最も畏るべき方。

諸国の民の神々はすべてむなしい。

主は天を造られ

御前には栄光と輝きがあり

聖所には力と光輝がある。

諸国の民よ、こぞつて主に帰せよ

栄光と力を主に帰せよ。

御名の栄光を主に帰せよ。

供え物を携えて神の庭に入り

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。

全地よ、御前におののけ。

国々にふれて言え、主こそ王と。

世界は固く据えられ、

決して揺らぐことがない。

主は諸国の民を公平に裁かれる。

天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ

海とそこに満ちるものよ、とどろけ

野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め

森の木々よ、共に喜び歌え

主を迎えて。

主は来られる、地を裁くために来られる。

〔司・会〕

主は世界を正しく裁き

真実をもって諸国の民を裁かれる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「舟の右側に網を」

聖書 ヨハネ21章1〜14節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神の招きに応えて」

聖書 マタイ22章1〜14節

説教者 宮間彰広兄

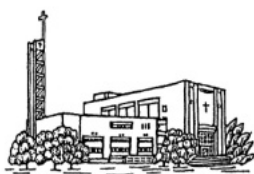
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 154番 339番

説教 「試練を喜びとする」

聖書 ヤコブ1章1〜4節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 147番 321番
説教 「わたしに従いなさい」
聖書 ヨハネ21章14～25節(新約 P.211)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「フーガ イ長調」 J.S.バッハ

○讃美歌147番

1. よろこびたたえよ 主は死にうちかち
陰府よりかえりぬ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
2. 勝利の主むかえて たたえの花たば
みまえにささげよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
3. きょうよりときわに つぎせぬいのちは
この世をうるおさん ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
4. いのちの主をほめ もろごえあわせて
この日をたたえよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
アーメン

○讃美歌321番

1. わが主イエスよ ひたすら いのりもとむ 愛をば
まさせたまえ 主を愛する あいをば あいをば
2. 世のやすきと たのしみ もとめたりし 身なれど
今はねがう 主を愛する あいをば あいをば
3. きたれ きたれ くるしみ うきなやみも いとわじ
いさみうたわん 主を愛する あいをば あいをば
4. いまわの息 かすかに のこるときも あいをば
まさせたまえ 主を愛する あいをば あいをば
アーメン

聖餐曲「コラール幻想曲」

(ハレルヤ！ほむべき神は我が心の喜び) より

M.レーガー

後奏曲「ああうれしわが身も」 D.ウェット

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。